

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月2日

上場会社名 株式会社デイトナ 上場取引所 東
 コード番号 7228 URL http://www.daytona.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)織田 哲司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)杉村 靖彦 (TEL)0538(84)2200
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	2,894	△2.0	187	27.6	195	58.7	136	85.6
28年12月期第2四半期	2,953	6.1	146	5.2	123	△11.5	73	△12.2

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 136 百万円 (85.5%) 28年12月期第2四半期 73 百万円 (△3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	64.86	63.66
28年12月期第2四半期	34.95	34.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	4,341	2,256	51.6
28年12月期	4,235	2,149	50.5

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,239 百万円 28年12月期 2,139 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年12月期	—	0.00	—	—	—
年 月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,120	1.9	330	△22.1	330	△20.4	220	△19.4	104.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	3,604,600株	28年12月期	3,604,600株
29年12月期2Q	1,497,972株	28年12月期	1,497,972株
29年12月期2Q	2,106,628株	28年12月期2Q	2,105,671株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による円安誘導政策が功を奏した形で緩やかな回復基調が持続しており、大手企業を中心に業績が堅調である一方、個人消費の回復は景気の先行き不透明が払拭できず厳しい状況が続いております。海外経済におきましては、英国のEU離脱問題や北朝鮮問題等、為替相場に大きく影響する問題が山積しており、こちらも先行きの見えない不安定な状態が続いております。

二輪車業界では、3月までは厳冬の影響で用品店への客足が鈍い状態が続いておりましたが、春の祭典、東京モーターサイクルショーを皮切りに本格的なバイクシーズンに入り、天候にも恵まれ、用品店への客足は昨年並みに回復するようになりました。

当社グループにおいては、グループ全体の売上高は前年同四半期を若干下回りましたが、国内拠点卸売事業での利益率の改善、そしてアジア拠点卸売事業売上高が前期から続いて好調であったこと、前期との比較で為替差損が大幅に減少したことにより、利益では前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は28億94百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は1億87百万円（前年同四半期比27.6%増）、経常利益は1億95百万円（前年同四半期比58.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億36百万円（前年同四半期比85.6%増）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業では、春からの天候回復により、第2四半期単独では前年同四半期を上回る売上高を達成することができましたが、累計ではまだ出遅れた第1四半期売上高を補うまでには至りませんでした。一方、利益面では利益率改善努力を推進した結果、累計で前年同四半期を上回るセグメント利益を達成することができました。商品区分としてはツーリング関連用品、メンテナンス用品などの販売が引き続き好調でした。この結果、売上高は20億9百万円（前年同四半期比2.1%減）となり、セグメント利益は1億79百万円（前年同四半期比14.2%増）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

アジア拠点卸売事業では、前年度・第1四半期に引き続き、補修・消耗品の販売が順調に推移したことにより、売上高は1億37百万円（前年同四半期比93.6%増）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比326.8%増）となりました。

[小売事業]

小売事業では、車両販売事業や中古品販売事業は前年同四半期を超えて順調に売上を伸ばしましたが、用品小売事業は引き続き近隣競合店出店による客数の減少やWeb通販の伸長など厳しい状況が続いております。費用においては、引き続き販管費の削減を続けており、前年同四半期と比べセグメント損失額は減少させることができました。結果、売上高は7億52百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント損失は6百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

[その他]

その他では、太陽光発電事業で前年に建設した静岡県沼津市の太陽光発電システムが順調に売上高・利益に寄与しました。そして本年5月よりインターネット上によるオートバイ中古部品・用品の売買に特化した仲介及び販売事業（リユースWEB事業）を開始しました。しかし、リユースWEB事業は開始後3か月の販売手数料無料期間を設けているため、手数料収入が立たず、費用が先行して発生しました。結果、売上高は39百万円（前年同四半期比74.2%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6.5%増加し、23億92百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が75百万円、たな卸資産が52百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2.0%減少し、19億49百万円となりました。これは、無形固定資産が11百万円増加しましたが、有形固定資産が50百万円減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加し、43億41百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ10.5%減少し、13億20百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が1億96百万円増加しましたが、短期借入金が2億83百万円減少したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ25.1%増加し、7億64百万円となりました。これは、長期借入金が1億61百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ0.7百万円減少し、20億84百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5.0%増加し、22億56百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの実績と最近の業績動向を踏まえ、連結売上高は、前回予想値63億45百万円から61億20百万円、連結営業利益は前回予想値2億97百万円から3億30百万円、連結経常利益は、前回予想値2億93百万円から3億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想値2億11百万円から2億20百万円と修正させていただきます。

詳細は本日別途開示の「第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	384,783	387,639
受取手形及び売掛金	538,322	613,333
たな卸資産	1,177,105	1,229,468
その他	151,997	167,851
貸倒引当金	△6,106	△6,216
流動資産合計	2,246,103	2,392,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	628,868	605,832
土地	864,305	863,962
その他(純額)	413,134	386,064
有形固定資産合計	1,906,308	1,855,859
無形固定資産		
投資その他の資産	54,507	66,335
その他	28,957	28,246
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	28,152	27,441
固定資産合計	1,988,968	1,949,636
資産合計	4,235,071	4,341,712

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,673	358,883
短期借入金	933,492	650,000
未払法人税等	105,685	73,669
賞与引当金	21,024	21,936
その他	251,464	215,767
流動負債合計	1,474,340	1,320,256
固定負債		
長期借入金	562,495	723,587
退職給付に係る負債	655	712
その他	48,108	40,282
固定負債合計	611,259	764,581
負債合計	2,085,600	2,084,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,456	412,456
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,150,562	2,251,389
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	2,157,071	2,257,897
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△17,741	△18,061
その他の包括利益累計額合計	△17,741	△18,061
新株予約権	10,136	16,974
非支配株主持分	5	62
純資産合計	2,149,471	2,256,874
負債純資産合計	4,235,071	4,341,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	2,953,185	2,894,426
売上原価	1,834,276	1,759,203
売上総利益	1,118,909	1,135,223
販売費及び一般管理費	971,961	947,657
営業利益	146,947	187,565
営業外収益		
受取手数料	5,087	4,465
試作品等売却代	3,396	5,749
その他	4,877	4,829
営業外収益合計	13,361	15,044
営業外費用		
支払利息	6,926	5,124
為替差損	28,049	763
その他	2,044	1,097
営業外費用合計	37,021	6,986
経常利益	123,288	195,624
特別利益		
固定資産売却益	636	1,518
特別利益合計	636	1,518
特別損失		
事業譲渡損	979	-
賃貸借契約解約損	1,074	-
特別損失合計	2,054	-
税金等調整前四半期純利益	121,870	197,142
法人税、住民税及び事業税	59,482	66,702
法人税等調整額	△11,238	△6,258
法人税等合計	48,243	60,444
四半期純利益	73,626	136,697
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	73,603	136,639

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	73,626	136,697
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△27	-
為替換算調整勘定	△82	△321
その他の包括利益合計	△109	△321
四半期包括利益	73,516	136,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,494	136,319
非支配株主に係る四半期包括利益	22	57

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	121,870	197,142
減価償却費	54,682	64,355
株式報酬費用	3,378	6,838
事業譲渡損益(△は益)	979	-
賃貸借契約解約損	1,074	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	109
受取利息及び受取配当金	△540	△210
支払利息	6,926	5,124
売上債権の増減額(△は増加)	△110,651	△77,719
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98,153	△52,689
仕入債務の増減額(△は減少)	37,327	197,048
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,723	1,640
その他	24,202	6,158
小計	39,361	347,799
利息及び配当金の受取額	541	210
利息の支払額	△8,439	△5,289
法人税等の支払額	△97,086	△100,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,622	241,967
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△17,214	△16,202
定期預金の払戻による収入	2,400	2,400
有形固定資産の取得による支出	△171,955	△5,742
有形固定資産の売却による収入	755	1,578
無形固定資産の取得による支出	△5,526	△20,387
事業譲渡による収入	2,000	-
貸付金の回収による収入	-	26
差入保証金の差入による支出	△1,379	-
差入保証金の回収による収入	458	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,462	△38,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	175,240	△115,338
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△162,796	△153,173
リース債務の返済による支出	△5,158	△3,992
社債の償還による支出	△58,840	△53,880
配当金の支払額	△31,400	△35,688
その他	2	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	117,047	△212,072
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,338	△2,557
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△147,376	△10,946
現金及び現金同等物の期首残高	418,255	264,214
現金及び現金同等物の四半期末残高	270,879	253,267

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年3月24日 定時株主総会	普通株式	31,569	15.0	平成27年12月31日	平成28年3月25日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年3月23日 定時株主総会	普通株式	35,812	17.0	平成28年12月31日	平成29年3月24日	利益剰余金

- 2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,017,223	53,568	859,974	2,930,767	22,418	2,953,185	—	2,953,185
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,192	17,493	35	52,721	—	52,721	△52,721	—
計	2,052,416	71,062	860,010	2,983,488	22,418	3,005,907	△52,721	2,953,185
セグメント利益又は損失 (△)	157,389	1,834	△21,984	137,239	8,868	146,108	839	146,947

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額839千円は、セグメント間取引消去△35千円、たな卸資産の調整額542千円、固定資産の調整額333千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,974,889	127,926	752,558	2,855,374	39,052	2,894,426	—	2,894,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,903	9,671	129	44,704	—	44,704	△44,704	—
計	2,009,792	137,598	752,687	2,900,078	39,052	2,939,131	△44,704	2,894,426
セグメント利益又は損失 (△)	179,773	7,829	△6,073	181,528	4,531	186,060	1,505	187,565

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業及びリユースWEB事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額1,505千円は、セグメント間取引消去△139千円、たな卸資産の調整額1,711千円、固定資産の調整額△67千円等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。